

解 答

一

問1 a のき b 比較 c 薄〔切り〕

問2 買い物の楽しさ

問3 何もかもパ・便利で、つ・どのストア

問4 コンビ～のか。 問5 食文化

問6 ウ 問7 ア

問8 人間の生き方そのものまで平均化されてしまう

問9 イ・カ

二

問1 孤児院での暮らしにはない、自由な時間〔を与えられて、どうしていいか分からなかったということ。〕

問2 おかわりできない孤児院の決まりを守った〔から。〕

問3 ウ 問4 A イ B ア

問5 祖母の家で暮らすという希望が失われてしまった〔ということ。〕

問6 ウ

解 説

一 出典は、多田富雄「インコンビニエンス・ストア」。

自身の経験を通じての、比較文化論（日本に批判的）です。対比（日本 vs スペイン・ヨーロッパ・アメリカ）をきちんとつかみます。入り組んだ述べ方になっていますので、どちらについて述べているのかを、しっかりとらえましょう。作品名の「インコンビニエンス・ストア」ですが、もし英語の意味を知らないても、文脈から推察できます。終わりから三つめの段落に、「コンビニが字句通り便利で～」とありますから、まず「コンビニエンス＝便利な」とわかります（こちらはほとんどの人が知っていたと思います）。最終段落に「インコンビニエンスに耐えて～」という表現があります。「インコンビニエンス＝不便な」と考えられますね。

問2 設問の中に「一見わざらわしい」という表現があります。答えはプラス内容と推測します。「ヨーロッパの専門店における買い物に対して、筆者が感じたプラス面・七字」と探していく。——線部から14行あとにあります。

問3 「日本のコンビニの特徴。何もかも売っていること以外・三つ」と押さえて、答えの候補を全部探すつもりで本文を読み返していきます。

- ・どんな町角にもある
- ・何でも調う
- ・何もかもパックされている
- ・本当に便利で、つい立ち寄ってしまう
- ・どのストアで買っても同じもの

これらから条件を満たす部分を切り取ります。「どんな町角にもある」は、「日本だったらどんな町角にもある」と切り取れるのですが、——線部と並べてみると違和感があります。

問4 「何でもコンビニで間に合わせてしまうようになった日本人に対する筆者的心配」と押さえて文脈を追います。

- 1 本当に豊かなものを失った
- 2 生活の中にあった豊かで価値のあるものを失ってきた

- 3 人間の生き方そのものまで平均化されてしまう
- 4 本当に国際社会で生きてゆけるのか

このほかに「子供たち」について述べた部分もありますが、2の例でしょう。

候補は3、4ですが、設問の「心配」が本文最終行の「不安に思った」の言い換えと考えて、最終文を取ります。

問5 「文化」、「伝統」など候補はありますが、「生ハムは各地域の何を示しているか」という問い合わせなので、「食文化」がベストでしょう。なお、「一語」は常に注意しましょう。

問6 「言葉でも、文章でも完全に表すことはできない」という意味です。

問7 「必要な・欠かせない」という意味の三字熟語。

問8 これが最難問かもしれません。「コンビニによって文化が破壊されている時、起こっていること」ですが、「ことば」という指示があり、解答欄が長い（一行分）のも悩ませます。内容としては、「人間の生き方の平均化」でしょう。

問9 まず、筆者の主張がカ。あとは事実関係の確認で、アは、「本場の味」と「子供向け」が×。ウは、「二十四時間・年中無休」（とは限らず）が×。エは、欧米の大型スーパーの状況が違っていて×。オは、「邪魔な存在」が×。キは、後半が×。

二 出典は、井上ひさし「明くる朝の蟬」。

問1 「時間に縛られる孤児院での生活」から「解放されて・自由な時間を与えられて」という二項目が書ければいい

でしょう。

問2 「孤児院の籠が外せないから」ですが、「比喩的な表現はなるべく言い換える」ことも知っておきましょう。

問3 状況（事実・できごと）をつかんで、心情を考えます。切り出し時を迷っていた祖母への願いをすらすら言えて「気が軽くなっ」ているのです。期待もふくらみます。——線部直後の「螢」が「希望の象徴」であることも同時にとらえましょう。

問4 食い扶持=食べるためにはかかる費用で、こちらは易しいと思いますが、「しお」は、工の「合図」で迷います。

「潮・汐」で、「潮時=ちょうどよいとき・機会」を意味します。

問5 問3で見た「希望」が、「消えてしまった」ことを意味しています。

問6 弟の性格がはっきり出ているのは、祖母と叔父のやりとりを聞いた後の態度です。祖母への優しさ・思いやりを読み取ります。